

お宝発掘

石黒邸

唐箕（とおみ）



唐箕（とおみ）とは、風力を利用して穀物を精選（せいせん）する農具であり、中国から伝わったといわれ、わが国で使用されるようになったのは江戸時代の元禄期頃です。石黒さんのお宅では 20 年程前までは使っていたとの事。試しに木くずを入れ、風を送ると重いものは手前の口から出てきて、逆に軽いものは奥へと飛ばされていきました。